

令和元年度 全国硬筆コンクール課題参考手本

大平恵理書

石	走	る			
---	---	---	--	--	--

た	る	み	の	上	の
---	---	---	---	---	---

さ	わ	ら	び	の	
---	---	---	---	---	--

も	え	出	づ	る	春
					に

な	り	に	け	る	か
					も

学年

氏名

※次のむすび方でもよい。「な」

小	三				
---	---	--	--	--	--

全体的な

評価の観点

について

正しく書けているか、整って書けているか、を考えて書きます。

文字は正しく書けていないと、人にまちがったないようが伝(つた)わったり、まちがった記録(きろく)が残(の)っててしまいます。また、整った形でないと感じづらくなります。

文字の正しさとは、何でしょうか。また、整った形とはどんな形でしょうか。

「横画、たて画、点、止め・はね、はらい、折(お)れ、折り返し、曲がり、そり、長さ、方向、外形、筆順(ひつじゆん)、接(せつ)し方、交わり方、中心、画と画の間、組み立て方、筆圧(ひつあつ)」などの評価の観点を学びます。一つ一つの評価の観点を考えて書くことで、文字の正しさを知り、整えて書くことが身(み)につくよう心がけましょう。

(課題文は「書文協」とは選定会議」選定・創作)